
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 122 号(2023. 3.16)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第122号をお届けします。今回の活動組織紹介では、①役員に若者を起用し世代交代を進めたことにより、コミュニケーションが活発となり連帯意識が強くなった組織、②植栽活動により畦畔崩れ防止を図るとともに、景観形成にも寄与している組織について紹介します。女性役員へのインタビューでは、会計を任せ一年目は大変だと感じたものの、今では慣れて丁寧に仕事を進めていることや、農家・非農家の協働により、伝統ある農村風景を後世伝えようと励んでいる事例について紹介します。また、活動組織の広報誌紹介では、日当や機械使用料の単価を掲載することで透明性の確保を図るとともに、地域の歴史あるかんがい施設やスタミナ料理レシピ等を紹介することで、読み物としての面白さを心掛けている事例についてご紹介いたします。事務局からは「つなぐ棚田遺産」の表彰式の様子をお届けします。

--第 122 号の目次-----

1. 活動組織の紹介

いんのしま
☆ 因島農地会 (広島県尾道市重井町) ☆

きざき
☆ 木崎農地管理組合 (埼玉県春日部市) ☆

2. 女性役員へのインタビュー

きたはぎお
☆ 北萩尾地域資源保全隊 (熊本県宇城市松橋町) ☆

3. 活動組織の広報誌紹介

にしきまち
☆ 錦町農地・水・環境保全管理協定運営委員会 (熊本県球磨郡錦町) ☆

4. 「つなぐ棚田遺産」感謝状贈呈式を開催しました!

(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{いのしま}因島農地会(広島県 おのみちししげいちょう 尾道市重井町)～■

～ 地区概要 ～

本組織は広島県の南東部に位置し、温暖な気候に恵まれた瀬戸内海島しょ部の1つで、地区景観が美しい地域で活動している。

活動範囲は畑 56.6ha、対象施設は水路 19.5km、農道 18.5km、ため池 2か所となっている。

～ 主な取組 ～

- ◎ 毎年地域の小学校と連携し、水路や田んぼ周辺に生息するメダカ、ヤゴ、アメンボ、オタマジャクシなどを捕獲する生き物調査をおこなっています。
- ◎ また、調査後に生き物の観察ができるよう小学校の中庭にビオトープを作りました。生き物が生息しやすい場所や生態の特徴などを子供たちが調査の過程で発見していくことがモチベーションになり、生き物の成長を見守り続けることで、生命や自然環境保全に目を向けてもらえると考えています。
- ◎ 書類作成や事務処理に若者の力を借りようと地区役員について、各地区の構成員の中から若い人たちに声掛けを行ったことにより、本年度から若手役員が5人増え、世代交代が進みました。地区役員で作ったグループチャットの活用により、地区内のコミュニケーションが活発になり連帯意識が強まりました。
- ◎ 懸案事項だった獣害対策も本交付金を活用して防護柵を補修したことにより、イノシシの目撃回数が激減しています。これからも農地を維持していくため若い力を存分に発揮できる体制づくりを目指していきます。



生き物調査集合写真



生き物調査中



捕獲した生き物を観察



防護柵補修

【因島農地会】

編集担当 SDGs コメント

小学校の中庭にビオトープを作る取組は生物多様性保全へつながり、在来生物の育成や子供達への生命の大切さを教えてくれる場となっていることから、目標 11(住み続けられる地域をつくる。)に貢献しています。また、組織内で世代交代が進み、コミュニケーションが活発となることで本交付金の継続に向けた組織の体制検討を行っていることから、目標 12(持続可能な生産・消費を進める。)に貢献しています。

若手メンバーの新たな視点での組織運営に期待しています！



etc.

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

きざま かすかべ
～木崎農地管理組合(埼玉県春日部市)～ ■

～ 地区概要 ～

木崎地区は春日部市北部に位置し、縦1km、横0.5kmに広がっている。また、本地区は大正、昭和時代の大衆文学作家として活躍した三上於菟吉^{みかみおときち}の生誕地である。昭和42年には、他地域に先駆けて農地の構造改善事業を行った。その後、施設園芸のモデル地区として、ナスのビニールハウスでの苗づくり等を行い、「江戸川ナス」としてメディアに取り上げられた。

活動範囲は、田19ha、畑1ha、農道1.5km、水路6.3kmとなっている。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本区自治会では月に1回、十日に集まる「十日講」という自治組織の会合があり、この機会を活用して活動の計画を立案、意見交換等の協議をすすめています。
- ◎ 本交付金の活動は今年で8年目を迎え、長寿命化による水路工事により、水漏れ防止、取水口から距離のあるほ場への入水が容易となり、水路内雑草の繁茂の軽減、土崩れの心配もなくなりました。活動前に比べ維持・管理の負担が軽減され、その効果は絶大です。岩垂れ草^{いわだれ}の植栽によりの畦畔崩れ防止と、地域の景観形成に寄与しています。
- ◎ 今後も、諸活動に多くの参加を呼びかけ、組織の絆を深めていくことに資する活動にしていきたいと思っています。



活動の様子



草刈り活動後の様子①



草刈り活動後の様子②



草刈り活動後の様子③

【木崎農地管理組合】

編集担当 SDGs コメント

水路工事や植栽により、漏水が防止されるようになることや植栽による畦畔崩れ防止は、地域における安全で災害に強いインフラづくりへとつながることから、目標9(災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する。)に貢献しています。

地域におけるインフラづくりと植栽を応援します！



etc.

■2. 女性役員へのインタビュー ～北萩尾地域資源保全隊(熊本市宇城市松橋町)～

インタビュー ～

組織の概要

活動範囲：田 19.8ha、畑 11.9ha
 対象施設：水路 7.3km 農道 8.0km
 活動開始時期：令和 2 年度～

- 話し手 くわた はるみ 鋤田 春美 (会計)、
たのうえ ひろつぐ 田上 廣続 (代表)
- 聞き手 推進協議会 事務局 2 名
- 場 所：北萩尾地域内



会計：鋤田さん(右)
 代表：田上さん(左)

Q：役員に女性が就いたきっかけを教えてください。

A：田上代表が組織を設立する為に役員を探されていて、以前、区の会計や「商工会」の経理を担当していた事がありました。また、交付金関係の処理の経験もあったからです。

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありませんでしたか？

A：組織の規約で、任期が5年間と決められているということを知った時には、「長い！！」と驚きました。更に、多面的機能支払交付金の概要説明を聞いたところ、市の単費だけではなく、国や県の補助金も含まれているとわかった時には、心配も大きかったです。ですが、田上代表は区長でもあり、頑張り者だということも分かっていたので、役をお受けすることにしました。

Q：組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

A：代表や副代表がしっかりと運営してくれているので、会計として苦労していることは特にありません。

Q：役員として心がけている事を教え下さい。

A：国や県の補助金には、所定の様式や処理の決まり事があるので、市役所からの指導内容については、しっかりと理解して取り組むこととしています。一年目は大変だと感じていましたが、今では慣れて、会計は作業がルーティンな分、人為的な間違いが無いよう



管理用の足場を設置

こまめな草取りが大切



植栽後2年目のシバザクラ

に心がけています。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：景観形成活動として、農道沿いの農地法面にシバザクラの植栽を進めています。現在の植栽箇所の延長は20mほどですが、今後はもっと延長を伸ばして萩尾地区の名所にしたいと話しています。また、水路法面等に根付いた雑木の伐採と撤去にも力を入れており、【北萩尾の“田畑”を荒らさずに『後世』へ残す】ことを目的として、田畑が整備された当時の風景を目指しています。



雑木の伐採と除去の様子

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

A：北萩尾地区でも、高齢化が進み、農業者の離農が増え、耕作放棄地や荒れている水路が見られるようになっていました。しかし、この制度を活用して、農業者と非農業者が協力した活動を行ったことによって、地域が美しく整備されていったのは、本当に良かったと感じています。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：北萩尾地区は、自然が多く、近くの神社では子ども達が舞う『お神楽』の奉納や相撲大会など、昔ながらの行事も行われており（近年はコロナの影響で中止。）、人のつながりや助け合いが残る住みやすい地域です。特に大きな活動をしたいという展望と言えるものはありませんが、蓮根田の広がる北萩尾の美しい景色と環境をいつまでも守り後世へ残すことが私たちの目標であり、一番の願いです。



北萩尾地区の蓮根田の風景

【熊本県多面的機能支払推進協議会：事務局】

編集担当 SDGs コメント

シバザクラの植栽による景観形成等により、地域の美しい農村風景を後世へとつなげていくことは目標 11（住み続けられる地域をつくる）に貢献しています。また、水路法面における雑木の伐採は地域資源の適切な保全や異常気象時の被害軽減につながることから目標 13（気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する）に貢献しています。

事務作業を丁寧にありがとうございました！



etc.

■3. 活動組織の広報誌紹介

にしきまち
～錦町農地・水・環境保全管理協定運営委員会(熊本県球磨郡錦町)～
くまぐんにしきまち

広報誌・自治会だよりの概要

毎年^の取組実績や総会での決定事項、活動における注意事項をまとめた「広報誌（表紙込み12ページ構成）」を年に1回（7月）発行しており、構成員に配布しています。

また、役場や土地改良区、小中学校や各種団体にも配布しており、多面的機能支払の事業の重要さや農業・農村の大切さを知ってもらうために役立てています。

～工夫しているポイント～

- ポイント1：共同活動で取り組んでいる「景観形成」や「生態系保全」を掲載することで、非農業者に関心を持って貰えるよう工夫している。また、巻末に歴史的な土地改良施設（かんがい施設等）の紹介や、広報誌の発行が7月と真夏なため、スタミナ料理のレシピ等を載せて、読み物としても楽しめる構成としている。
- ポイント2：総会での決定事項を載せることで、活動内容や事務処理に対して透明性を確保し、構成員との情報共有を図っている。

【錦町農地・水・環境保全管理協定運営委員会事務局】

ポイント1 美しい風景と繋がりで心を掴む！

表紙では、美しい風景や地域ぐるみの取組を紹介することで、見る人の心をつかみ、構成員には自分たちの活動に自信を持ってもらえるようにしています。



機械使用料 (単位:円)		日当 (単位:円)	
機械名	金額	機械名	金額
刈払機	1,000	軽トラック	2,000
モア(動力刈払機)	2,000	軽トラック(ダンプ式)	3,000
チェーンソー	1,000	トラクター	2,000
動力噴霧器	2,000	2tダンプ	5,000
背負式ミスト機	1,000	ユニツプ車	4,000
散布機	1,000	重機運搬車(片道)	3,000
削岩機	1,000	フォークリフト	2,000
洗浄機	1,000	タイヤショベル	3,000
発電機	2,000	ローダー	3,000
水中ポンプ	1,000	ポプキヤット	3,000
揚水ポンプ	1,000	バックホー	6,000
ハンドグラインダー	1,000	農耕車両(作業)	
鉄筋切断機	1,000	※印農業労働賃金協定に準ずる	
電動ピック	1,000		
電動ウインチ	1,000		
コンクリートミキサー	3,000		

日当 (単位:円)	
活動内容	金額
会議日当 (1回あたり)	2,000
調査・作業日当 (1時間あたり) (1作業/日8時間以内)	1,000
重機オペレーター手当 (1作業/日あたり) (日当に上乗せ)	1,000

※その他、表に無い機械を使用した場合は協議の上、単価を決定します。

日当及び機械使用料の単価表
 当面は臨時用地・水環境保全推進協議会事務局により定められています。

ポイント2 お金の支払いルールは明確に！

日当及び機械使用料の単価表は、毎年掲載することで、理解促進を図っています。

ポイント3 非農業者や子ども達との活動は前面に！

とにかく、興味を持ってもらうことが一番です。

生態系保全(生物の生息状況の把握) 生き物調査

生き物調査は、健全で豊かな農村の自然を守り、生き物と私たちの繋がりの大切さに気づき、次の世代に受け継いでいく事を目指しています。



第8区

きめ細やかな雑草対策



第8区
老人会による芝ザラの
手入れ。

知敷原
法面等の草刈り負担軽減の
ために防草シートを敷設。

植栽などの景観形成活動



22区
防草シート敷設後の景観形成とし
てプランターにチューリップの球根
植え。

栄
子供会によるコスモス
の開花。
(表紙の右下)

ポイント4 活動の注意点は繰り返し周知徹底！

今、一番注意して欲しい事を周知しています。

共同活動前に安全確認を行い、事故の発生を防止しましょう

※全国で以下のような事故が発生しています。

平成24年度から令和2年度に350件の事故が農林水産省に報告されています。発生原因では、**転倒・転落(39%)**及び**墜落・墜下(27%)**で過半数を占めています。樹木の伐採を行う場合や重機を用いる場合は、重大な事故につながる可能性があります。

また、障害事故のみならず、物損事故も増加しており、特に注意が必要です。

活動中の事故は、車列りや雑木伐採時、車両等機械操作中に多く発生しています。

(事故の事例)

- 活動項目: 水源の草刈り
- 作業内容: 雑木の伐採・除去作業
- 事故概要: 雑草の根を断る際に30cmの雑木をチェーンソーで伐採中、作業員が倒木への切り込みを行わなかったために雑木が地上2m付近で破断し、頭部を直撃したものと判定。
- 被災状況: 重体の後、死亡
- 発生原因: ヘルメットの着用。安全な作業方法(作業員が倒木への切り込み)の高度不足。

※活動に当たっては、参加者一人一人が事故防止の意識を持つことが大切です。事故を避けるために十分注意して作業をしていただきますようお願いいたします。

……いま一度ご確認ください……

- 領収書について
※ポイントカードの使用は出来ません!! → 交付金なので個人への還元は認められません。
- ※領収書の宛名は「**鶴岡農地・水・地(地区名)**」です。 → 書き間違い、書き忘れの無い様にご確認ください。
- ※領収書には内訳(数量や単価)が分かるようにお願いします。

注) 子供会参加以外の飲料水はお茶とスポーツドリンクのみ認められていますが、特定保健用食品のお茶等の購入はしないようにお願いします。

作業をされる方へ
 ・危険を伴う作業を行う際、ヘルメットの着用をお願いします。
 特にバックホーを使用される際に指が刺さらない方が非常に多いです。必要方は指出手を装着する必要があります。
 ・特に刈払機等を使用される際は、危険度も高くなるので活動中は声を掛け合い、周りに目を配りましょう。
 ・夏は熱中症が心配されますので水分補給を心がけて下さい。

田代溝の歴史

田代溝は、小き川を源流とし、人吉市田代町を流れる。古くは、人吉市田代町を流れる。古くは、人吉市田代町を流れる。古くは、人吉市田代町を流れる。

歴史は、田代高地に何とが水を引けるのかと考へ、上田代川(守原乙治氏)が「開闢」し、運水(隠忍)を先んじて利用しようとした。開闢は、運水(隠忍)を先んじて利用しようとした。開闢は、運水(隠忍)を先んじて利用しようとした。

7月豪雨から1年が経ちました。被災直後、農地の復旧に、農地・水事業で応急工事を行い、農地の取組が出来ましたが、河川掘削や道路等の復旧は進んでいない。農地には、まだ、土砂が堆積し、水路は壊れたままの状態のところがあつた。少しでも早く農地の復旧が行われ、年々農業としての営みが出来ていくよう、応援していきます。

ポイント5 読み物としても満点！ 最後まで多面的の活動と関係のある情報をピックアップ。

のうち・水だより

7月豪雨から1年が経ちました。被災直後、農地の復旧に、農地・水事業で応急工事を行い、農地の取組が出来ましたが、河川掘削や道路等の復旧は進んでいない。農地には、まだ、土砂が堆積し、水路は壊れたままの状態のところがあつた。少しでも早く農地の復旧が行われ、年々農業としての営みが出来ていくよう、応援していきます。

夏まさかり 簡単豚キムチ炒め

ビタミンB1 豊富な豚肉と乳酸発酵食品のキムチで夏バテ予防にお試し下さい。

豚キムチ炒め
 材料 2人分
 豚バラ肉(薄切り).....150g
 キムチ.....120g
 白飯キムチ.....120g
 しょうゆ.....1/2茶匙
 酒.....大さじ1
 塩コショウ.....少々

作り方
 豚肉、白飯キムチ、ニラは3cm幅に切り、フライパンにごま油を熱し、豚肉を入れ焦らずに炒め、火が通ったら白飯キムチ、もやしを加え炒めます。もやしが入らないうちに、ニラと醤油を加え、さっと火からあけて、器に盛り完成です。

■ 4. 「つなぐ棚田遺産」感謝状贈呈式を開催しました！ ■

○ 「つなぐ棚田遺産」感謝状とは

地域における多様な主体との連携や協力を促進することを目的として、棚田地域の振興等に貢献する企業・大学等の取組を評価し、優れた取組を実施する企業等に感謝状を贈呈する取組です。

贈呈企業一覧はこちら → <https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/kansyajyosentei.html>

○ 「つなぐ棚田遺産」感謝状贈呈式の開催

令和5年3月9日（木）に「つなぐ棚田遺産」感謝状贈呈式をオンラインにて開催。優れた取組を実施する39企業等に感謝状を贈呈し、特に優れた取組を実施する5企業等には直接会場に足を運んでいただき、富田地域振興課長より特別感謝状が贈呈されました。



日頃の感謝を込めて、棚田地域から特別感謝状受賞企業等へ感謝の言葉が贈られましたので紹介します。

【感謝の言葉（一部抜粋）】

NPO法人大山千枚田保存会 ⇒ 株式会社大塚商会

平成17年の故大塚商会会長大塚実との出会いをきっかけに大山千枚田保全への御社のご支援が大山千枚田の存続に大きな力となりました。

いがみ田を守る会 ⇒ NPO 法人 bankup

貴団体には、20 年以上にわたり、横尾棚田での活動において、学生ボランティアの協力をいただきました。若い皆様との交流は私たち地域の刺激、活力になっています。

新潟県上越市牧区岩神町内会 ⇒ 株式会社ナルサワコンサルタント

笑顔飛び交う交流の中心にいてくださり、水路の補修、泥上げ、草刈りなど、地元精鋭と声を掛け合いながら、一生懸命汗を流していただきました。

小豆島町役場 ⇒ タケサンフーズ株式会社

地元だけで耕作者を確保することが難しくなりつつある中で、棚田の耕作者育成プログラム「棚田アカデミー」に参加されていることに、心から感謝しております。

英田上山棚田団 ⇒ 株式会社さとふる

御社の棚田特集に選んでいただき、私たちだけでは声の届かなかった方々へ確実にアプローチできており、一重に御社の信頼と発信力だと感謝しております。

株式会社大塚商会へは、NPO 法人大山千枚田保存会より記念品として、大山千枚田の棚田米で作られた日本酒が贈呈されました。

また感謝状贈呈企業の選定をおこなった「つなぐ棚田遺産」委員会の山路委員長のトークセッションが行われ、棚田の魅力や棚田地域における企業連携の意義について語られました。



大山千枚田保存会より大塚商会へ記念品の贈呈



山路委員長によるトークセッション

「つなぐ棚田遺産」感謝状は来年度も開催予定です。この取組を通して多くの企業に棚田地域での活動に興味を持っていただければと思います。

【農林水産省】

■ 編集後記 ■

読者の皆様こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。

私事ではございますが、先日、研修で中国四国地方を訪れました。農地整備事業、かんがい排水事業、干拓地における農地防災事業の現場を見学することができました。ICT 施工の AR 技術により農家さんへの説明がスムーズになったこと、水が貴重な香川県においてコンクリート畦畔を使用した工事現場、海水が流入しないよう 24 時間潮位監視が行われている排水施設等、盛りだくさんに学習することができました。写真はさぬきうどんです！コシがとても感じられ、やっぱり本場はおいしかったです★
それでは次号もお楽しみに！



さぬきうどん

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300 字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：近藤、藤原）
TEL：03-3502-8111（内線 5493）